



シュプレヒコールで米軍ヘリ墜落に抗議する市民ら
＝6日、北谷町砂辺・嘉手納基地第1ゲート前

「苦難もう許せぬ」 嘉手納で抗議集会

【嘉手納】HH60救難ヘリ墜落事故を受けて市民団体や労組は6日、嘉手納基地第1ゲート前で緊急抗議集会を開いた。市民ら約100人が基地に向かい怒りの声を上げ、全米軍基地の撤去やオスプレイ配備反対を訴えた。

主催した第3次嘉手納基地爆音差し止め訴訟原告団の新川秀清団長は「普天間にオスプレイを配備し、嘉手納には毎年のように墜落

事故を起こすヘリや戦闘機を押しつけている。この苦難を次の世代に持ち越さないように心を一つにしよう」と呼び掛けた。

中部地区労の嘉手納直議長は「住宅地のそばで墜落するような恐ろしい訓練を平気でやっている米軍は絶対に許せない」と日本政府の責任も追及した。

嘉手納のような街中に墜落したと思うと怖い。基地はないにこしたことはない」と表情を曇らせた。

退職教員の仲原ハルさん(70)は北谷町は1968年のB52墜落事故を思い出して、「いつも私たちの命より米軍が優先される」と現状を疑問視した。

仕事帰りの兵士らが車内から集会の様子をうかがい、携帯電話で写真を撮る兵士もいた。